

プログラム

第1日 11月26日(木) A会場 4F オリエンタルボールルーム

8:55～9:00 開会の辞

安井 弥

9:00～9:30 レクチャー1

Wnt シグナルによる細胞運動制御とその異常による癌の悪性化

座長：今井 浩三 札幌医科大学学長

演者：菊池 章 広島大学大学院医歯薬学総合研究科
分子細胞情報学

9:30～10:48 シンポジウム(1)

消化器癌研究の新展開

座長：中山 淳 信州大学大学院医学系研究科分子病理学分野

前原 喜彦 九州大学大学院消化器・総合外科(第二外科)

S(1)-1. 胃発癌における組織幹細胞および骨髄由来幹細胞の役割

富山大学医学薬学研究部 消化器・腫瘍・総合外科¹⁾、
Division of Digestive and Liver Diseases, Columbia University²⁾、
Division of Comparative Medicine, Massachusetts Institute of Technology³⁾、
Departments of Medicine and Genetics, University of Pennsylvania⁴⁾
奥村 知之¹⁾、嶋田 裕¹⁾、高石 繁生²⁾、
Russell Ericksen²⁾、Sheng-Wen Wang²⁾、James G Fox³⁾、
Anil K Rustgi⁴⁾、Timothy C Wang²⁾、塚田 一博¹⁾

S(1)-2. 大腸上皮細胞特異的プロモーターを利用した新規マウス大腸癌モデルの作製と
大腸癌発生機構の解明

広島大学大学院医歯薬総合研究科内視鏡外科学¹⁾、先進医療開発科学講座外科学²⁾、
分子病理学³⁾、自然科学研究支援センター⁴⁾、ミシガン大学医学部内科学⁵⁾
檜井 孝夫¹⁾、Akyol Aytakin⁵⁾、佐々田達成²⁾、川口 康夫²⁾、
高倉 有²⁾、大上 直秀³⁾、外丸 祐介⁴⁾、Eric Fearon⁵⁾、
安井 弥³⁾、岡島 正純¹⁾、大段 秀樹²⁾

S(1)-3. 自発運動による Snark 欠損マウスにおける血中 IL-6 濃度の正常化と
がん感受性、代謝異常の改善

国立がんセンター東病院臨床開発センターがん組織生理機能解析プロジェクト
土原 一哉、藤岡 ルミ、江角 浩安

S(1)-4. 多発大腸癌非癌部大腸粘膜の DNA 脱メチル化異常から大腸癌異時発生の危険性を予測する

自治医科大学さいたま医療センター外科¹⁾、浜松医科大学第一外科²⁾
 神山 英範¹⁾、鈴木 浩一¹⁾、前田 孝文¹⁾、小泉 圭²⁾、
 宮木祐一郎²⁾、佐々木純一¹⁾、溝上 賢¹⁾、野田 弘志¹⁾、
 河村 裕¹⁾、小西 文雄¹⁾

S(1)-5. 肝細胞癌株に対する短時間温熱処理による新たな悪性形質の獲得

聖マリアンナ医科大学 消化器肝臓内科

松本 伸行、小澤俊一郎、渡邊 嘉行、岡本 賢、
 池田 裕喜、高橋 秀明、松永光太郎、奥瀬 千晃、
 鈴木 通博、伊東 文生

S(1)-6. レチノイドによる鉄代謝制御を介した肝臓酸化ストレス抑制

鳥取大学大学院医学系研究科遺伝子医療学

土谷 博之、星川 淑子、汐田 剛史

10:48 ~ 11:20 ミニシンポジウム (1)

消化器癌の分子基盤：幹細胞

座長：立松 正衛 日本バイオアッセイ研究センター
 野村 幸世 東京大学大学院医学系研究科消化管外科

MS(1)-1. マウス *H. pylori* 感染および MNU 誘発胃腫瘍における骨髄由来細胞の関与

愛知県がんセンター研究所 腫瘍病理学¹⁾、
 国立がんセンター研究所 がん予防基礎研究プロジェクト²⁾、
 愛知県がんセンター研究所 分子病態学³⁾、
 日本バイオアッセイ⁴⁾、藤田保健衛生大学 第一病理学⁵⁾
 高須 伸二^{1, 2)}、豊田 武士¹⁾、時 亮¹⁾、
 田口 修³⁾、立松 正衛^{1, 4)}、塚本 徹哉^{1, 5)}

MS(1)-2. 大腸癌の増殖・進展における骨髄由来間葉系幹細胞の重要性

広島大学大学院分子病態制御内科学¹⁾、同 大学病院内視鏡診療科²⁾、
 広島大学大学院医歯薬学総合研究科創生医科学専攻探索医科学講座分子病理学研究室³⁾

品川 慶¹⁾、北台 靖彦¹⁾、田中美和子¹⁾、炭田 知宜¹⁾、
 児玉美千世¹⁾、茶山 一彰¹⁾、田中 信治²⁾、安井 弥³⁾

MS(1)-3. CD133 陽性細胞は直腸癌に対する放射線化学療法の耐性に関与する

徳島大学外科学

小松 正人、島田 光生、西岡 将規、栗田 信浩、
 岩田 貴、森本 慎也、吉川 幸造、東島 潤、
 中尾 寿宏、柏原 秀也、宇都宮 徹

MS(1)-4. 癌組織アレイによる iPS 関連遺伝子発現の検討

富山大学消化器・腫瘍・総合外科¹⁾、病理部²⁾

嶋田 裕¹⁾、奥村 知之¹⁾、長田 拓哉¹⁾、大澤 宗士¹⁾、
 関根 慎一¹⁾、松井 恒志¹⁾、吉岡 伊作¹⁾、澤田 成朗¹⁾、
 森田 誠市¹⁾、吉田 徹¹⁾、福岡 順也²⁾、加島 志郎²⁾、
 影山俊一郎²⁾、塚田 一博¹⁾

11:25 ~ 11:55 レクチャー2

組織内微小環境因子代謝酵素 ADAM の性質とヒト癌組織での役割

座長：森 正樹 大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学

演者：岡田 保典 慶應義塾大学医学部病理学教室

12:00 ~ 13:00 ランチョンセミナー1

大腸癌に対する実践的治療戦略

- CPT-11 の位置づけと分子標的薬をいかに組み込むか -

座長：楢原 啓之 広島大学大学院医歯薬学総合研究科がん治療学講座

演者：小松 嘉人 北海道大学病院腫瘍センター・化学療法部

共催：株式会社ヤクルト本社

13:00 ~ 15:00 特別企画

消化器癌の発生・進展とその制御 - 過去から未来を考える -

座長：上西 紀夫 公立昭和病院院長

安井 弥 広島大学大学院医歯薬学総合研究科分子病理学

日本消化器癌学会創設のころとその理念

大原 毅 都留市立病院名誉院長

Field Carcinogenesis が意味するもの

杉町 圭蔵 公立学校共済組合九州中央病院病院長

DNA の時代から RNA の時代

田原 榮一 財団法人広島がんセミナー理事長

分子疫学的に観た消化器癌の発生と進展

森 正樹 大阪大学大学院医学系研究科外科学講座消化器外科学

消化管癌の組織発生における癌・間質相互作用の役割

横崎 宏 神戸大学大学院医学研究科病理学講座病理学分野

胃がんから消化器がんにおける DNA メチル化異常を考える

牛島 俊和 国立がんセンター研究所発がん研究部

15:00～15:52 シンポジウム(2)

消化器癌治療の新展開

座長：澤田 鉄二 大阪市立大学大学院 腫瘍外科
 西山 正彦 埼玉医科大学国際医療センター
 トランスレーショナルリサーチセンター

S(2)-1. グルコース連結クロリンによる胃癌・大腸癌の新規光線力学的治療法の基礎的検討

名古屋市立大学大学院消化器・代謝内科学¹⁾、
 名古屋市立大学大学院加齢・環境皮膚科学²⁾、
 京都大学産学官連携センター³⁾

田中 守¹⁾、片岡 洋望¹⁾、尾関 啓司¹⁾、馬淵 元志¹⁾、
 海老 正秀¹⁾、小林 郁生¹⁾、平田 慶和¹⁾、水島 隆史¹⁾、
 志村 貴也¹⁾、溝下 勤¹⁾、村上 賢治¹⁾、久保田英嗣¹⁾、
 谷田 諭史¹⁾、神谷 武¹⁾、森田 明理²⁾、矢野 重信³⁾、
 城 卓志¹⁾

S(2)-2. 切除不能・再発膵癌に対するペプチドワクチンと gemcitabine 併用療法第 I 相臨床試験

東京女子大学東医療センター外科¹⁾、
 東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター²⁾

碓井 健文¹⁾、塩澤 俊一¹⁾、金 達浩¹⁾、土屋 玲¹⁾、
 猪瀬 悟史¹⁾、会澤 雅樹¹⁾、吉松 和彦¹⁾、小川 健治¹⁾、
 角田 卓也²⁾、中村 祐輔²⁾

S(2)-3. GSK3 β 阻害による抗がん剤誘導性上皮間葉移行 (EMT) の制御に基づく
 新規膵癌治療ストラテジー

金沢医科大学 腫瘍内科学¹⁾、同 総合医学研究所²⁾、
 金沢大学がん研究所³⁾

島崎 猛夫¹⁾、石垣 靖人²⁾、高田 尊信²⁾、
 北野 綾子³⁾、夏 啓勝¹⁾、友杉 直久²⁾、
 川上 和之³⁾、源 利成³⁾、元雄 良治¹⁾

S(2)-4. 大腸癌に対する IGF-I 受容体を分子標的とした治療

札幌医大第一内科¹⁾、札幌医大²⁾、
 札幌しらかば台病院³⁾

足立 靖^{1, 3)}、山本 博幸¹⁾、大橋 広和¹⁾、井伊 正則¹⁾、
 遠藤 高夫³⁾、今井 浩三²⁾、篠村 恭久¹⁾

15:52 ~ 16:24 ミニシンポジウム (2) - 1
 消化器癌の分子基盤：エピジェネティクス - 1

座長：島田 光生 徳島大学 外科学
 豊田 実 札幌医科大学 生化学講座

MS(2)-1-1. 多発胃癌背景胃粘膜における異常メチル化

札幌医科大学第一内科¹⁾、札幌医科大学生化学²⁾、
 秋田赤十字病院消化器病センター³⁾、
 岩手医大分子診断病理⁴⁾、札幌医大⁵⁾

山本英一郎^{1、2)}、豊田 実²⁾、鈴木 拓^{1、2)}、山本 博幸¹⁾、
 山野 泰穂³⁾、菅井 有⁴⁾、今井 浩三⁵⁾、篠村 恭久¹⁾

MS(2)-1-2. 大腸癌における IGFBP7 のメチル化と CIMP との相関

札幌医科大学内科学第一講座¹⁾、札幌医科大学生化学講座²⁾、
 札幌医科大学公衆衛生学講座³⁾、札幌医科大学学長⁴⁾

鈴木 拓^{1、2)}、五十嵐伸一¹⁾、高丸 博之¹⁾、新沼 猛¹⁾、
 山本英一郎^{1、2)}、野島 正寛³⁾、山本 博幸¹⁾、豊田 実³⁾、
 今井 浩三⁴⁾、篠村 恭久¹⁾

MS(2)-1-3. 腺管分離法を用いた multiploid 大腸癌の分子病理学的解析

岩手医科大学医学部病理学講座分子診断病理学分野¹⁾、
 岩手医科大学薬学部薬物代謝動態学講座²⁾、
 岩手医科大学医学部外科学講座³⁾

小西 康弘¹⁾、菅井 有¹⁾、無江 良晴¹⁾、
 幅野 渉²⁾、大塚 幸喜³⁾、若林 剛³⁾

MS(2)-1-4. 大腸癌における癌関連遺伝子の DNA

プロモーター領域異常メチル化プロファイルと臨床応用

岐阜大学医学部腫瘍外科¹⁾、

University of Texas Southwestern Medical Center²⁾

高橋 孝夫、徳山 泰治、名和 正人、山田 順子、
 眞田 雄市、田中 善宏、奥村 直樹、野中 健一、
 山口 和也、長田 真二、Adi F. Gazdar、吉田 和弘

16:24 ~ 16:56 ミニシンポジウム(2) - 2
 消化器癌の分子基盤：エピジェネティクス - 2

座長：牛島 俊和 国立がんセンター研究所発がん研究部
 嶋田 裕 富山大学消化器・腫瘍・総合外科

MS(2)-2-1. 胃癌における腹腔洗浄液の DNA メチル化と腹膜播種予測に関する検討

佐賀大学 一般・消化器外科

平木 将紹、北島 吉彦、中村 淳、
 橋口 和義、能城 浩和、宮崎 耕治

MS(2)-2-2. 肝癌患者における血中メチル化 CCND2 遺伝子の術前測定による早期肝内再発予測

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学¹⁾、

ロシユ・ダイアグノスティックス²⁾

筒井 理仁¹⁾、飯塚 徳男¹⁾、森部 豊輝²⁾、
 恒富 亮一¹⁾、飯田 通久¹⁾、徳久 善弘¹⁾、
 坂本 和彦¹⁾、為佐 卓夫¹⁾、岡 正朗¹⁾

MS(2)-2-3. Ras 変異体導入による腫瘍発生におけるヒストン修飾蛋白の関与

国立がんセンター東病院 臨床開発センター 臨床腫瘍病理部¹⁾、

名古屋市立大学大学院医学研究科 分子毒性学分野²⁾

藤井 誠志¹⁾、深町 勝巳²⁾、津田 洋幸²⁾、落合 淳志¹⁾

MS(2)-2-4. ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤による膀胱癌細胞株に対する

Gemcitabine 併用化学療法増強効果の検討

徳島大学 外科学

岩橋 衆一、島田 光生、宇都宮 徹、森根 裕二、
 居村 暁、池本 哲也、花岡 潤、金本 真美、
 斎藤 裕、栗田 信浩、三宅 秀則

17:00 ~ 18:40 日韓イブニングシンポジウム

消化器癌治療の将来展望 —基礎から臨床へ—

Future perspective of gastrointestinal cancer treatment — from bench to bedside —

座長：Han-Kwang Yang Department of Surgery and Cancer Research Institute,
Seoul National University College of Medicine

吉田 和弘 岐阜大学大学院腫瘍外科学分野

Heterogeneous amplification of ErbB2 is responsible for discordant
ErbB2 status between primary and metastatic gastric carcinoma.

Woo Ho Kim Department of Pathology Seoul National
University College of Medicine

Cell Sheet Engineering for Regenerative Medicine

大和 雅之 東京女子医科大学大学院医学研究科
先端生命医科学専攻再生医工学分野

Current status of gastric cancer treatment in KOREA

: Laparoscopic surgery for gastric cancer

Han-Kwang Yang Department of Surgery and Cancer Research Institute,
Seoul National University College of Medicine

Robotic gastrectomy with D2 lymph node dissection for gastric cancer

宇山 一郎 藤田保健衛生大学消化器外科学

Aiming for the Establishment of Standard Treatment for Progressive
Gastric Cancer

小泉和三郎 北里大学医学部内科学

共催：大鵬薬品工業株式会社

第1日 11月26日(木) B会場 3F レインボールーム

9:30～10:10 ワークショップ(1)-1

消化器癌の基礎と臨床：食道癌-1

座長：桑野 博行 群馬大学大学院病態総合外科学（第一外科）
杉原 洋行 滋賀医科大学病理学講座（分子診断病理学部門）

WS(1)-1-1. A COMPARISON OF MOUSE ESOPHAGEAL REFLUX MODELS

Department of Gastrointestinal Surgery Graduate School of Medicine The University of Tokyo¹⁾,
Showa General Hospital²⁾Fabio Terabe¹⁾, Sachiyo Nomura¹⁾, Susumo Aikou¹⁾,
Yasuyuki Seto¹⁾, Michio Kaminishi²⁾

WS(1)-1-2. Short segment Barrett esophagus の発生過程

－新しい胃食道逆流症疾患モデルからの知見－

滋賀医科大学 分子診断病理学

向所 賢一、萩原 恭史、杉原 洋行、服部 隆則

WS(1)-1-3. 十二指腸液逆流による食道発癌の機序

近畿大学保健管理センター

橋本 直樹

WS(1)-1-4. SAGE 法を用いた食道扁平上皮癌における新規マーカー ADAMTS16 の同定

広島大学大学院医歯薬学総合研究科・分子病理学研究室¹⁾、大分大・消化器外科学²⁾、岐阜大・腫瘍外科学³⁾坂本 直也¹⁾、大上 直秀¹⁾、仙谷 和弘¹⁾、阿南 勝宏¹⁾、
野口 剛²⁾、真田 雄市³⁾、吉田 和弘³⁾、安井 弥¹⁾

WS(1)-1-5. 食道癌における酸化的DNA損傷修復酵素の発現について

九州大学大学院 消化器・総合外科

久保 信英、森田 勝、神代 竜一、中西 良太、
久松 雄一、中ノ子智徳、藤中 良彦、杉山 雅彦、
中島雄一郎、吉田倫太郎、吉永 敬士、北尾 洋之、
佐伯 浩司、江見 泰徳、掛地 吉弘、前原 喜彦

10:10 ~ 10:50 ワークショップ(1)-2
 消化器癌の基礎と臨床：食道癌-2

座長：藤 也寸志 国立病院機構九州がんセンター消化器外科
 夏越 祥次 鹿児島大学腫瘍制御学・消化器外科学

WS(1)-2-1. 食道扁平上皮癌における KPNA2 (importin α 1) 発現の検討

群馬大学大学院病態総合外科学¹⁾、
 獨協医科大学第一外科²⁾

酒井 真¹⁾、鈴木 茂正¹⁾、佐野 彰彦¹⁾、田中 成岳¹⁾、
 猪瀬 崇徳¹⁾、家田 敬輔¹⁾、宗田 真¹⁾、中島 政信¹⁾、
 宮崎 達也¹⁾、福地 稔¹⁾、加藤 広行²⁾、桑野 博行¹⁾

WS(1)-2-2. 食道癌における EMT 制御遺伝子 FOXC2 発現の臨床病理学的意義

九州大学生体防御医学研究所 外科¹⁾、
 大阪大学大学院 消化器外科学²⁾

西田 尚弘¹⁾、三森 功士¹⁾、横堀 武彦¹⁾、古後龍之介¹⁾、
 秋吉清百合¹⁾、石丸 神矢¹⁾、岩槻 政晃¹⁾、石川 健二¹⁾、
 主藤 朝也¹⁾、田中 文明¹⁾、柴田 浩平¹⁾、森 正樹²⁾

WS(1)-2-3. 食道扁平上皮癌における CD151 発現の検討

群馬大学大学院医学系研究科 病態総合外科学¹⁾、
 埼玉医科大学総合医療センター 消化管・一般外科²⁾、
 獨協医科大学 第一外科³⁾

鈴木 茂正¹⁾、田中 成岳¹⁾、酒井 真¹⁾、佐野 彰彦¹⁾、
 猪瀬 崇徳¹⁾、宗田 真¹⁾、中島 政信¹⁾、宮崎 達也²⁾、
 加藤 広行³⁾、桑野 博行¹⁾

WS(1)-2-4. 食道扁平上皮癌における STC2 (Stanniocalcin 2) の高発現とその意義

鹿児島大学大学院腫瘍制御学消化器外科学¹⁾、
 九州大学生体防御医学研究所 細胞機能制御学部門分子腫瘍学分野²⁾、
 大阪大学大学院外科学講座消化器外科³⁾

喜多 芳昭¹⁾、松本 正隆¹⁾、奥村 浩¹⁾、内門 泰斗¹⁾、
 瀬戸山徹郎¹⁾、石神 純也¹⁾、大脇 哲洋¹⁾、三森 功士²⁾、
 森 正樹³⁾、夏越 祥次¹⁾

WS(1)-2-5. 食道癌における FBXO31 発現の臨床的意義について

九州大学生体防御医学研究所分子腫瘍学(外科)¹⁾、
 九州大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科学²⁾、
 大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科学³⁾

古後龍之介^{1, 2)}、横堀 武彦¹⁾、三森 功士¹⁾、
 田中 文明¹⁾、小宗 静男²⁾、森 正樹³⁾

10:50～11:22 ワークショップ(1)-3

消化器癌の基礎と臨床：食道癌-3

座長：瀬戸 泰之 東京大学大学院医学系研究科消化管外科学
野口 剛 大分大学消化器外科

WS(1)-3-1. 食道癌と Vitamin D Receptor 発現との臨床病理学的関連について

大阪市立大学大学院 腫瘍外科

森本 純也、田中 浩明、久保 尚士、六車 一哉、
天野 良亮、野田 英児、井上 透、八代 正和、
山田 靖哉、澤田 鉄二、前田 清、大平 雅一、
石川 哲郎、平川 弘聖

WS(1)-3-2. 食道癌内視鏡治療後患者における異時性多発癌の特徴

－放射線照射の有無による検討－

広島大学内視鏡診療科¹⁾、同 保健管理センター²⁾、同 消化器・代謝内科³⁾

卜部 祐司¹⁾、日山 亨²⁾、岡 志郎¹⁾、河野 友彦³⁾、
栞原 隆泰³⁾、津村 貴子³⁾、福原 達磨³⁾、平田大三郎³⁾、
田中 信治¹⁾、茶山 一彰³⁾

WS(1)-3-3. 食道表在癌に対する光線力学的治療の位置づけ－当科における治療経過と成績－

長崎大学病院消化器内科¹⁾、長崎大学大学院医歯薬総合研究科腫瘍外科²⁾

植原 亮平¹⁾、磯本 一¹⁾、井上 直樹¹⁾、
山口 直之¹⁾、七島 篤志²⁾、中尾 一彦¹⁾

WS(1)-3-4. 当科における切除不能・再発食道癌に対する DCF 療法 (Docetaxel / CDDP / 5-FU 併用療法) の検討

東京女子医大東医療センター 外科

五十畑則之、成高 義彦、島川 武、浅香 晋一、
村山 実、山口健太郎、吉松 和彦、塩澤 俊一、
勝部 隆男、小川 健治

15:00～15:40 ワークショップ(2)-1

消化器癌の基礎と臨床：大腸癌 - 1

座長：清水 伸幸 東京大学大学院医学系研究科 消化管外科
中森 正二 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

WS(2)-1-1. ヒト大腸癌における Wwox 発現回復はリン酸化型 Akt 発現を抑制し、
p53 核内移行を促進する

神戸大学大学院医学研究科病理学講座病理学分野
仙波 秀峰、松下 麻衣、中山 俊二、横崎 宏

WS(2)-1-2. 大腸癌細胞株における K-ras 変異型アレルの不均衡発現と遺伝子コピー数との関係
岐阜大学医学部腫瘍外科

奥村 直樹、井川 愛子、徳山 泰治、田中 善宏、
眞田 雄市、野中 健一、高橋 孝夫、山口 和也、
長田 真二、吉田 和弘

WS(2)-1-3. 大腸癌細胞から分泌されるメチオニン-エンケファリンは宿主 T 細胞を抑制する

奈良県立医科大学分子病理

大森 斉、岩佐 陽介、中尾 聡志、
栗原 都、笹平 智則、國安 弘基

WS(2)-1-4. 小腸粘膜に発現する CD10 は粘膜免疫系の保持に関与する

奈良県立医科大学 分子病理学

賀屋 大介、福岡 宏倫、藤井 澄、
大森 斉、國安 弘基

WS(2)-1-5. 原爆被爆者の大腸がんにおけるマイクロサテライト不安定性に関わる遺伝子変化

財団法人放射線影響研究所放射線生物学／分子疫学部¹⁾、
埼玉医科大学国際医療センタートランスレイショナルリサーチセンター²⁾、
広島大学大学院医歯薬学総合研究科分子病理学³⁾、
財団法人放射線影響研究所・顧問⁴⁾

伊藤 玲子¹⁾、江口 英孝²⁾、濱谷 清裕¹⁾、多賀 正尊¹⁾、
高橋 恵子¹⁾、大上 直秀³⁾、安井 弥³⁾、中地 敬⁴⁾

15:40～16:20 ワークショップ(2)-2
消化器癌の基礎と臨床：大腸癌-2

座長：小川 健治 東京女子医科大学東医療センター外科
藤盛 孝博 獨協医科大学病理学（人体分子）

WS(2)-2-1. 大腸鋸歯状腺癌における臨床病理学的検討

県立広島大学人間文化学部¹⁾、広島大学歯学部²⁾、県立広島大学生命環境学部³⁾

嶋本 文雄¹⁾、青木絵里子¹⁾、政池 美保¹⁾、
斉 公営²⁾、達家 雅明³⁾

WS(2)-2-2. 進行性大腸癌における浸潤部の嚢胞様構造の形成は予後を規定する因子となる

鳥取大学医学部 基盤病態医学講座 器官病理学分野¹⁾、

同 器官制御外科学講座 病態制御外科学分野²⁾

庄盛 浩平¹⁾、堅野 国幸²⁾、田村 隆行¹⁾、井藤 久雄¹⁾

WS(2)-2-3. 大腸直腸癌におけるしょう膜弾性板浸潤に伴う形態変化と診断的有用性

国立がんセンター東病院 臨床開発センター 臨床腫瘍病理部¹⁾、

国立がんセンター東病院 大腸骨盤外科²⁾

小嶋 基寛¹⁾、石井源一郎¹⁾、中嶋健太郎²⁾、
齋藤 典男²⁾、落合 淳志¹⁾

WS(2)-2-4. 大腸癌における claudin-18 の発現：胃型粘液形質と予後との相関について

広島大学大学院医歯薬学総合研究科 分子病理学研究室

松田 美穂、仙谷 和弘、大上 直秀、安井 弥

WS(2)-2-5. 大腸癌における Olfactomedin4 は独立した予後予測因子である

広島大学大学院医歯薬学総合研究科 分子病理学研究室

世古 直嗣、大上 直秀、仙谷 和弘、若松 雄太、
内藤 寛、本下 潤一、安井 弥

16:20 ~ 17:00 ワークショップ (2) - 3
 消化器癌の基礎と臨床：大腸癌 - 3

座長：工藤 進英 昭和大学横浜市北部病院
 嶋本 文雄 県立広島大学人間文化学部健康科学科

WS(2)-3-1. 大腸癌における Trk の発現

奈良県立医科大学 分子病理学講座

笹平 智則、栗原 都、大森 斉、
 藤井 澄、國安 弘基

WS(2)-3-2. 大腸癌における LAT-1 発現の検討

福島県立医科大学器官制御外科

早瀬 傑、隈元 謙介、岡山 洋和、竹之下誠一

WS(2)-3-3. 大腸癌における RNF8 発現量の検討

岐阜大学腫瘍外科

森 龍太郎、長田 真二、棚橋 利行、真田 雄市、
 徳山 泰治、奥村 直樹、野中 健一、高橋 孝夫、
 山口 和也、吉田 和弘

WS(2)-3-4. 低酸素誘導遺伝子 EFNA1 の大腸癌術後予後因子としての意義

大阪大学大学院医学研究科消化器外科学

鄭 充善、山本 浩文、原口 直紹、
 竹政伊知朗、水島 恒和、池田 正孝、
 関本 貢嗣、土岐祐一郎、森 正樹

WS(2)-3-5. 潰瘍性大腸炎における DNA methyltransferase-1 の発癌予測マーカーとしての有用性

獨協医科大学 病理学 (人体分子)¹⁾、
 第一外科²⁾、第二外科³⁾、消化器内科⁴⁾

尾形 英生^{1、2)}、市川 一仁¹⁾、廣瀬 元彦¹⁾、田中 宏幸¹⁾、
 山岸 秀嗣¹⁾、関川 昭¹⁾、福井 広一¹⁾、富田 茂樹¹⁾、
 井村 穰二¹⁾、藤盛 孝博¹⁾、平石 秀幸⁴⁾、椿 昌裕²⁾、
 加藤 広行²⁾、石塚 満³⁾、高木 和俊³⁾、永田 仁³⁾、
 窪田 敬一³⁾

19:00 ~ 会員懇親会

第2日 11月27日(金) A会場 4F オリエンタルボールルーム

8:30～9:00 レクチャー3

発がんの連盟的首位性 ー癌の発生・進展とその制御ー

座長：愛甲 孝 鹿児島大学医歯学総合研究科教育開発センター

演者：樋野 興夫 順天堂大学医学部病理・腫瘍学

9:00～9:52 シンポジウム(3)

消化器癌診断の新展開

座長：伊東 文生 聖マリアンナ医科大学消化器・肝臓内科

落合 淳志 国立がんセンター東病院臨床開発センター臨床腫瘍病理部

S(3)-1. 胃癌における olfactomedin 4 の発現と血清腫瘍マーカーへの応用

広島大学大学院医歯薬学総合研究科分子病理学研究室¹⁾、

大分大学消化管外科²⁾

大上 直秀¹⁾、仙谷 和弘¹⁾、坂本 直也¹⁾、

野口 剛²⁾、本下 潤一¹⁾、安井 弥¹⁾

S(3)-2. 新たな胃癌特異的メチル化遺伝子の網羅的解析

聖マリアンナ医科大学 消化器・肝臓内科

渡邊 嘉行、前畑 忠輝、大石 嘉恭、小澤俊一郎、

平川 麻美、岡本 賢、津田 享志、伊東 文生

S(3)-3. LINE-1 メチル化解析による大腸がんの予後・抗癌剤感受性診断

金沢大学がん研究所腫瘍制御

川上 和之、源 利成

S(3)-4. ステレオマッチング法による内視鏡画像の3次元計測の開発と検討

大阪電気通信大学 医療福祉工学部 医療福祉工学科

長倉 俊明、牧坂 光、川合 真子、

吉田 成人、平尾 素弘、太田 高志、

山田 憲嗣、道田 知樹、河原 邦光

9:52 ~ 10:24 ミニシンポジウム (3) - 1
消化器癌の分子基盤：微小環境・血管新生 - 1

座長：江角 浩安 国立がんセンター東病院院長
高橋 豊 千葉大学大学院医学研究院がん分子免疫治療学

MS (3) -1-1. 胃癌の増殖、転移における骨髄由来間葉系幹細胞の役割

神戸大学大学院医学研究科 病理学講座 病理学分野¹⁾、
国立がんセンター研究所 腫瘍ゲノム解析・情報研究部²⁾
西村加奈子¹⁾、仙波 秀峰¹⁾、青柳 一彦²⁾、
佐々木博己²⁾、横崎 宏¹⁾

MS (3) -1-2. 胃癌浸潤転移における myofibroblast および vimentin 陽性胃癌細胞の関与

大阪市立大学大学院 腫瘍外科
冬廣 雄彦、八代 正和、野田 諭、加藤 幸裕、
柏木伸一郎、井上 透、澤田 鉄二、大平 雅一、
石川 哲郎、平川 弘聖

MS (3) -1-3. スキルス胃癌の組織形成と進展における胃癌細胞と間質細胞の相互作用因子の
同定及び解析

神戸大学大学院医学研究科病理学分野病理学講座¹⁾、
大阪市立大学大学院医学研究科老年医学研究部門腫瘍分野²⁾、
同 腫瘍外科³⁾、
増田理沙代¹⁾、仙波 秀峰¹⁾、八代 正和²⁾、
平川 弘聖³⁾、横崎 宏¹⁾

MS (3) -1-4. 胃癌間質に対する分子標的治療の有用性

広島大学大学院分子病態制御内科学¹⁾、
広島大学病院内視鏡診療科²⁾、
広島大学保健管理センター³⁾
炭田 知宜¹⁾、北台 靖彦¹⁾、大原 英司¹⁾、
品川 慶¹⁾、田中美和子¹⁾、児玉美千世¹⁾、
田中 信治²⁾、吉原 正治³⁾、茶山 一彰¹⁾

10:24 ~ 10:56 ミニシンポジウム (3) - 2
 消化器癌の分子基盤：微小環境・血管新生 - 2

座長：今野 弘之 浜松医科大学外科学第2講座
 城 卓志 名古屋市立大学大学院消化器・代謝内科学

MS(3)-2-1. 低酸素環境下における癌細胞の悪性度獲得機構の解明

神戸大学大学院 医学研究科 病理学講座 病理学分野¹⁾、
 神戸医療センター 内科²⁾、
 神戸大学大学院医学研究科 医学専攻 臨床医学領域 外科学講座 肝胆脾外科分野³⁾
 橋本 興人¹⁾、仙波 秀峰¹⁾、清水 一也²⁾、
 具 英成³⁾、横崎 宏¹⁾、堀 裕一³⁾

MS(3)-2-2. 胃癌組織における低酸素状態の臨床病理学的意義

大阪市立大学大学院腫瘍外科学
 加藤 幸裕、八代 正和、野田 諭、土井 洋輔、
 前田 清、澤田 鉄二、大平 雅一、平川 弘聖

MS(3)-2-3. 食道癌肉腫におけるリンパ管新生に関する免疫組織化学的検討

群馬大学大学院病態総合外科学¹⁾、
 同 病理診断学²⁾、
 新潟大学大学院消化器一般外科³⁾、
 同 分子・病態病理学⁴⁾、
 自治医科大学消化器外科⁵⁾、
 獨協医科大学第一外科⁶⁾
 佐野 彰彦^{1、2)}、宗田 真¹⁾、櫻井 信司²⁾、鈴木 茂正¹⁾、
 酒井 真¹⁾、田中 成岳¹⁾、猪瀬 崇徳¹⁾、中島 政信¹⁾、
 宮崎 達也¹⁾、榎本 剛彦³⁾、神田 達夫³⁾、味岡 洋一⁴⁾、
 細谷 好則⁵⁾、加藤 広行⁶⁾、桑野 博行¹⁾

MS(3)-2-4. APC^{Min/+} マウスを用いた腫瘍新生血管、リンパ管の解析

東京女子医科大学医学部 解剖学・発生生物学講座
 北原 秀治、板垣 裕子、江崎 太一

10:56 ~ 11:28 ミニシンポジウム (4)

消化器癌の分子基盤：マイクロ RNA

座長：土岐祐一郎 大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学
三森 功士 九州大学生体防御医学研究所外科

MS(4)-1. 食道癌における miR-200c 発現と臨床病理学的因子の検討

大阪大学 消化器外科

濱野 梨絵、宮田 博志、山崎 誠、中島 清一、
瀧口 修司、藤原 義之、森 正樹、土岐祐一郎

MS(4)-2. Helicobacter pylori 感染に伴う胃粘膜の microRNA 発現変動とその意義

長崎大学病院 消化器内科

井上 直樹、磯本 一、中尾 一彦

MS(4)-3. 大腸癌ゲノムにおける microRNA cluster 領域の変動とその臨床病理学的意義

九州大学生体防御医学研究所外科¹⁾、

大阪大学大学院消化器外科²⁾

石丸 神矢¹⁾、三森 功士¹⁾、森 正樹²⁾

MS(4)-4. 肝細胞癌に対する生体肝移植後の予後因子としての microRNA の意義

九州大学大学院 消化器・総合外科

森田 和豊、調 憲、武富 紹信、本村 貴志、
間野 洋平、武石 一樹、戸島 剛男、梅田 健二、
萱島 寛人、二宮 瑞樹、内山 秀昭、副島 雄二、
前原 喜彦

11:28 ~ 12:00 ワークショップ (4) - 1
消化器癌の基礎と臨床：胃癌 - 1

座長：向所 賢一 滋賀医科大学病理学講座分子診断病理学
 藤村 隆 金沢大学消化器・乳腺・移植再生外科

WS (4) -1-1. PPI 長期投与後の萎縮性胃炎の悪化と adenocarcinoma 発生の促進
 - *Helicobacter pylori* 感染スナネズミモデルを用いた検討 -

滋賀医科大学 分子診断病理学

萩原 恭史、向所 賢一、杉原 洋行、服部 隆則

WS (4) -1-2. NF- κ B 阻害剤を用いたヘリコバクター・ピロリ感染スナネズミ慢性胃炎および胃癌の抑制

愛知県がんセンター研究所 腫瘍病理学部¹⁾、

国立がんセンター研究所 がん予防基礎研究プロジェクト²⁾、

日本バイオアッセイ研究センター³⁾、

藤田保健衛生大学 第1病理⁴⁾

豊田 武士¹⁾、高須 伸二^{1、2)}、時 亮¹⁾、齋藤 典子¹⁾、
 齋藤 亜弓¹⁾、立松 正衛^{1、3)}、塚本 徹哉^{1、4)}

WS (4) -1-3. 胃 ESD 症例における Auto fluorescence imaging (AFI) による萎縮性胃炎の広がり
 と HP 除菌後、異時性多発早期胃癌発生の検討

大阪府立成人病センター 消化管内科

鼻岡 昇、上堂 文也、石原 立、河田奈都子、
 辻井 芳樹、井上 拓也、花房 正雄、竹内 洋司、
 東野 晃治、飯石 浩康、竜田 正晴

WS (4) -1-4. *Helicobacter pylori* 陰性胃癌症例の検討

広島大学大学院 分子病態制御内科学¹⁾、

広島大学保健管理センター²⁾、

広島大学病院 内視鏡診療科³⁾

松尾 泰治¹⁾、辰上 雅名¹⁾、伊藤 公訓¹⁾、北村 正輔¹⁾、
 高村 明美¹⁾、和田 慶洋¹⁾、今川しのぶ¹⁾、松本 善明¹⁾、
 高田 俊介¹⁾、吉原 正治²⁾、田中 信治³⁾、茶山 一彰¹⁾

12:00 ~ 13:00 ランチョンセミナー2
進行再発大腸がん化学療法の新たな治療戦略

座長：岡島 正純 広島大学大学院内視鏡外科学講座

演者：植竹 宏之 東京医科歯科大学大学院応用腫瘍学講座

共催：中外製薬株式会社

13:00 ~ 13:30 会長講演

新しい診断・治療標的の同定へのオミクス解析によるアプローチ

座長：前原 喜彦 九州大学大学院 消化器・総合外科（第二外科）

演者：安井 弥 広島大学大学院医歯薬学総合研究科分子病理学

13:30 ~ 14:15 総会

G-project 報告

座長：安井 弥 広島大学大学院医歯薬学総合研究科分子病理学

演者：澤田 鉄二 大阪市立大学大学院 腫瘍外科

14:15 ~ 14:55 ワークショップ (4) - 2

消化器癌の基礎と臨床：胃癌 - 2

座長：菅井 有 岩手医科大学医学部病理学講座分子診断病理学分野

宮崎 耕治 佐賀大学医学部附属病院

WS(4)-2-1. 胃癌の細胞不死化制御機構における DNA ミスマッチ修復系不活化の関与

神戸大学大学院医学研究科 病理学講座病理学分野

横崎 宏、大森 靖弘、仙波 秀峰

WS(4)-2-2. 胃癌のサイトケラチンパターンとがん関連分子及び粘液形質との関係

広島大学大学院医歯薬学 分子病理学研究室

高見 北斗、仙谷 和弘、松田 美穂、

大上 直秀、安井 弥

WS(4)-2-3. 遺伝子発現プロファイリングの比較から同定された HOXA10 の腸型胃癌としての意義

広島大学大学院医歯薬学総合研究科分子病理学研究室¹⁾、

国立がんセンター研究所腫瘍ゲノム解析・情報研究部²⁾

仙谷 和弘¹⁾、大上 直秀¹⁾、松田 美穂¹⁾、高見 北斗¹⁾、

坂本 直也¹⁾、青柳 一彦²⁾、佐々木博己²⁾、安井 弥¹⁾

WS(4)-2-4. 胃癌における DSC2 発現と腸型粘液形質との関連

広島大学大学院医歯薬学総合研究科 分子病理学研究室¹⁾、

防府胃腸病院²⁾、大分大学消化管外科³⁾

阿南 勝宏¹⁾、大上 直秀¹⁾、坂本 直也¹⁾、林 哲太郎¹⁾、

仙谷 和弘¹⁾、松崎 圭祐²⁾、野口 剛³⁾、安井 弥¹⁾

WS(4)-2-5. 進行胃癌における MAGE-1 発現の意義

群馬大学大学院病態総合外科学

緒方 杏一、小川 敦、矢内 充洋、豊増 嘉高、

安藤 裕之、大野 哲郎、藍原 龍介、持木 彰人、

浅尾 高行、桑野 博行

14:55 ~ 15:35 ワークショップ (4) - 3
 消化器癌の基礎と臨床：胃癌 - 3

座長：大上 直秀 広島大学大学院医歯薬学総合研究科分子病理学
 松原 長秀 兵庫医科大学外科

WS(4)-3-1. 胃癌における HIF-1 α の発現と 5-FU 抵抗性についての検討

佐賀大学 一般・消化器外科¹⁾、
 病因病態科学²⁾

中村 淳¹⁾、北島 吉彦¹⁾、甲斐 敬太²⁾、橋口 和義¹⁾、
 平木 将紹¹⁾、能城 浩和¹⁾、宮崎 耕治¹⁾

WS(4)-3-2. 胃癌における CD133 発現の検討

鹿児島大学腫瘍制御学消化器外科

石神 純也、中条 哲浩、松本 正隆、奥村 浩、
 上之園芳一、蔵原 弘、有上 貴明、内門 泰斗、
 瀬戸山徹郎、有馬 豪男、新地 洋之、上野 真一、
 愛甲 孝、夏越 祥次

WS(4)-3-3. リンパ管新生に関する免疫組織学的検討

群馬大学大学院 病態総合外科学

木暮和夏子、田中 成岳、山内 逸人、田部 雄一、
 藤井 孝明、堤 荘一、浅尾 高行、桑野 博行

WS(4)-3-4. CD44v6、MMP-7、Cdx2 の免疫組織化学染色による胃癌リンパ節転移予測

福島県立医科大学器官制御外科

岡山 洋和、隈元 謙介、早瀬 傑、竹之下誠一

WS(4)-3-5. p53 に発現制御される FBXW7 の胃癌における発現意義

九州大学生体防御医学研究所分子腫瘍学(外科)¹⁾、

群馬大学大学院病態総合外科学(第一外科)²⁾、

大阪大学大学院医学系研究科消化器外科³⁾

横堀 武彦¹⁾、三森 功士¹⁾、岩槻 政晃¹⁾、田中 文明¹⁾、
 井上 裕¹⁾、桑野 博行²⁾、森 正樹³⁾

15:35～16:23 ワークショップ(4)-4

消化器癌の基礎と臨床：胃癌-4

座長：塚本 徹哉 藤田保健衛生大学医学部病理学1
徳永 昭 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター

WS(4)-4-1. OPRT 活性の減弱によりヒト胃癌細胞株において5-FUの耐性が引き起こされる
広島大学腫瘍外科

津谷 康大、吉田 和弘、大原 正裕、
檜原 淳、岡田 守人

WS(4)-4-2. 胃癌補助化学療法におけるS-1感受性試験の有用性
日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター¹⁾、
同 消化器外科²⁾、同 千葉北総病院外科³⁾

前島顕太郎¹⁾、徳永 昭¹⁾、木山 輝郎²⁾、菅野 仁士²⁾、
山田 岳史²⁾、千原 直人¹⁾、坊 英樹¹⁾、渡辺 昌則¹⁾、
古川 清憲³⁾、内田 英二²⁾

WS(4)-4-3. 胃SM癌のリンパ節転移危険因子に関する検討
-胃SM癌に対する内視鏡治療根治基準拡大を目指して-
広島大学 内視鏡診療科¹⁾、
広島大学 消化器・代謝内科²⁾、
広島大学 病理部³⁾、
広島県立大学人間文化学部健康科学科⁴⁾

佐野村洋次¹⁾、岡 志郎¹⁾、田中 信治¹⁾、東山 真²⁾、
茶山 一彰²⁾、有広 光司³⁾、嶋本 文雄⁴⁾

WS(4)-4-4. 高齢患者にみられた進行胃癌が自然退縮したと思われる一症例
東海大学医学部内科学系消化器内科学
藤澤 美亜、白井 孝之、峯 徹哉

WS(4)-4-5. 胃洗浄廃液を用いた胃癌診断への試み
聖マリアンナ医科大学 消化器・肝臓内科

小澤俊一郎、渡辺 嘉行、前畑 忠輝、平川 麻美、
岡本 賢、津田 享志、松本 伸行、伊東 文生

WS(4)-4-6. 根治切除不能StageIV胃癌に対する手術療法の意義
大阪市立大学 腫瘍外科

六車 一哉、澤田 鉄二、豊川 貴弘、野田 英児、
天野 良亮、久保 尚士、田中 浩明、山下 好人、
山田 靖哉、八代 正和、前田 清、大平 雅一、
石川 哲郎、平川 弘聖

第2日 11月27日(金) B会場 3F レインボールーム

9:00～9:32 ワークショップ(2)-4

消化器癌の基礎と臨床：大腸癌 - 4

座長：岡島 正純 広島大学大学院内視鏡外科学講座
富田 尚裕 兵庫医科大学外科学講座下部消化管外科

WS(2)-4-1. 生体内低酸素誘導遺伝子検索モデルとしての大腸癌肝転移巢の有用性

大阪大学 消化器外科

植村 守、山本 浩文、原口 直紹、竹政伊知朗、
水島 恒和、池田 正孝、石井 秀始、関本 貢嗣、
土岐祐一郎、森 正樹

WS(2)-4-2. 転移再発大腸癌に対する癌宿主応答についての考察

久留米大学医療センター 外科¹⁾、

久留米大学 外科²⁾

笹富 輝男¹⁾、村上 英嗣¹⁾、内田 信治¹⁾、村上 直孝¹⁾、
山口 圭三¹⁾、緒方 裕¹⁾、白水 和雄²⁾

WS(2)-4-3. 大腸・直腸癌における5FU代謝酵素OPRT, TS, DPDの発現と病態の検討

岐阜大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学

小森 充嗣、長田 真二、森 龍太郎、松井 聡、
眞田 雄市、高橋 孝夫、山口 和也、吉田 和弘

WS(2)-4-4. 大腸癌細胞株を用いたCybridの作製とFOLFOX感受性の検討

日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター¹⁾、

同 消化器外科²⁾、

同 老人病研究所生化学部門³⁾

千原 直人^{1, 3)}、徳永 昭¹⁾、水谷 聡¹⁾、
前島顕太郎¹⁾、内田 英二²⁾、太田 成男³⁾

9:32 ~ 10:12 ワークショップ (3) - 1

消化器癌の基礎と臨床：肝胆膵癌 - 1

座長：大段 秀樹 広島大学大学院先進医療開発科学講座外科学
峯 徹哉 東海大学医学部内科学系消化器内科学

WS (3) -1-1. ACTIVATED CD56⁺ CELLS DERIVED FROM PERIPHERAL BLOOD HAVE
A POTENTIAL TO PREVENT THE RECURRENCE OF HCC AND HCV
RE-INFECTION AFTER LIVER TRANSPLANTATION

Hiroshima University

Marlen Doskali, Masahiro Ohira, Yuka Tanaka, Yuka Igarashi,
Toshimasa Asahara, Kazuaki Chayama, Hideki Ohdan

WS (3) -1-2. 肝細胞癌における DGK α 発現の臨床病理学的意義

九州大学大学院 消化器・総合外科¹⁾、

千葉大学大学院 理学研究科生体機能化学研究室²⁾

武石 一樹¹⁾、調 憲¹⁾、武富 紹信¹⁾、森田 和豊¹⁾、
戸島 剛男¹⁾、本村 貴志¹⁾、間野 洋平¹⁾、梅田 健二¹⁾、
萱島 寛人¹⁾、二宮 瑞樹¹⁾、内山 秀明¹⁾、副島 雄二¹⁾、
坂根 郁夫²⁾、前原 喜彦¹⁾

WS (3) -1-3. 肝細胞癌の腫瘍被膜および線維性隔壁の間質細胞の平滑筋形質および
癌組織内外の血管外膜線維芽細胞の有無に関して

広島鉄道病院臨床検査室¹⁾、

広島大学大学院医歯薬学総合研究科分子病理学²⁾、

近森病院病理診断科³⁾

中山 宏文¹⁾、安井 弥²⁾、円山 英昭³⁾

WS (3) -1-4. 胆嚢癌の浸潤形式と Tumor infiltrating lymphocyte (TIL) の検討

佐賀大学 一般・消化器外科¹⁾、

病因病態科学²⁾

甲斐 敬太^{1, 2)}、神谷 尚彦¹⁾、徳永 藏²⁾、北原 賢二¹⁾、
三好 篤¹⁾、能城 浩和¹⁾、宮崎 耕治¹⁾

WS (3) -1-5. 胆管癌の予後予測因子の解析と免疫組織学的検討

群馬大学大学院病態総合外科学

鈴木 秀樹、和田 渉、新木健一郎、小林 力、
久保 憲生、原 圭吾、桑野 博行

10:12 ~ 10:52 ワークショップ (3) - 2
消化器癌の基礎と臨床：肝胆膵癌 - 2

座長：汐田 剛史 鳥取大学大学院医学系研究科遺伝子医療学
田妻 進 広島大学病院総合内科・総合診療科

WS(3)-2-1. Gemcitabine 耐性胆道癌細胞株における Tranilast の apoptosis 誘導作用の検討

佐賀大学 一般・消化器外科

橋口 和義、北島 吉彦、平木 将紹、
中村 淳、能城 浩和、宮崎 耕治

WS(3)-2-2. ヒト膵癌細胞株におけるゲムシタビン耐性機構の解析

鳥取大学大学院医学系研究科 遺伝子医療学

土谷 博之、明地 雄司、西尾 れん、
星川 淑子、汐田 剛史

WS(3)-2-3. 膵臓癌由来のミトコンドリア DNA 変異は抗癌剤耐性を示す

日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター¹⁾、

日本医科大学老人病研究所²⁾、

日本医科大学外科³⁾

水谷 聡¹⁾、太田 成男²⁾、前島顕太郎¹⁾、千原 直人¹⁾、
吉野 雅則¹⁾、小峯 修¹⁾、星野 有哉¹⁾、尾形 昌男¹⁾、
渡辺 昌則¹⁾、徳永 昭¹⁾、内田 英二³⁾

WS(3)-2-4. 膵 IPMN および通常膵癌における蛋白発現の比較検討

岐阜大学 腫瘍外科

眞田 雄市、田中 善宏、徳山 泰治、
長田 真二、吉田 和弘

WS(3)-2-5. HNPCC 由来多重癌に合併する膵腺房細胞癌の一例

国立病院機構大阪医療センター 外科¹⁾、病理部²⁾

三木友一朗¹⁾、辻江 正徳¹⁾、池永 雅一¹⁾、宮本 敦史¹⁾、
児玉 良典²⁾、眞能 正幸²⁾、辻仲 利政¹⁾、中森 正二¹⁾

10:52 ~ 11:24 ミニシンポジウム(5) - 1

消化器癌の分子基盤：浸潤・転移 - 1

座長：井藤 久雄 鳥取大学医学部器官病理
篠村 恭久 札幌医科大学内科学第一講座

MS(5)-1-1. ゴレドロン酸は口腔癌の増殖を抑制しアポトーシスを誘導する

鳥取大学医学部 基盤病態解析医学講座 器官病理学分野
田村 隆行、庄盛 浩平、井藤 久雄

MS(5)-1-2. HuD は口腔扁平上皮癌の進展に関与する

奈良県立医科大学分子病理学講座¹⁾、
奈良県立医科大学口腔外科学講座²⁾、
栗原 都¹⁾、笹平 智則¹⁾、山本 一彦²⁾、
桐田 忠昭²⁾、國安 弘基¹⁾

MS(5)-1-3. 口腔扁平上皮癌における MIA2 の発現

奈良県立医科大学分子病理学講座¹⁾、
奈良県立医科大学口腔外科学講座²⁾、
栗原 都^{1、2)}、笹平 智則¹⁾、山本 一彦²⁾、
桐田 忠昭²⁾、國安 弘基¹⁾

MS(5)-1-4. Snail による上皮間葉系形質転換は食道扁平上皮癌の運動と悪性度に関与する

神戸大学大学院医学系研究科病理学講座病理学分野
宇佐美 悠、佐竹 信哉、中山 文仁、
仙波 秀峰、横崎 宏

11:24 ~ 11:56 ミニシンポジウム (5) - 2

消化器癌の分子基盤：浸潤・転移 - 2

座長：浅尾 高行 群馬大学大学院病態総合外科
仙波 秀峰 神戸大学大学院医学研究科病理学講座病理学分野

MS(5)-2-1. ヒト胃癌培養細胞を用いたマウス転移モデルの開発と薬効評価への応用

安田女子大学薬学部薬学科 生命薬学講座¹⁾、
国立がんセンター研究所 実験動物管理室²⁾、
国立がんセンター研究所 がん転移研究室³⁾、
国立がんセンター中央病院 消化器内科⁴⁾

柳原 五吉^{1, 2)}、瀧ヶ平美里^{2, 4)}、落谷 孝広³⁾、濱口 哲弥⁴⁾

MS(5)-2-2. 細胞壊死は HMGB1 を介して腫瘍増殖を促進する

奈良県立医科大学分子病理
羅 奕、森若優希子、磯部 衛、
大山 善子、國安 弘基

MS(5)-2-3. CD10 は肝細胞から分泌される Met-エンケファリンの抗腫瘍作用を阻害し
大腸癌の肝転移を促進する

奈良県立医科大学分子病理¹⁾、
福岡大学医学部消化器外科²⁾
大森 斉¹⁾、岩坪 重彰¹⁾、羅 奕¹⁾、
佐々木隆光²⁾、山下 裕一²⁾、國安 弘基¹⁾

MS(5)-2-4. トランス脂肪酸であるエライジン酸は癌転移促進作用を示す

奈良県立医科大学 分子病理
遠山 幸果、西井 遼子、下元 貴澄、
傳田阿由美、國安 弘基

14:15 ~ 14:55 ミニシンポジウム (5) - 3

消化器癌の分子基盤：浸潤・転移 - 3

座長：國安 弘基 奈良県立医科大学分子病理
源 利成 金沢大学がん研究所

MS(5)-3-1. 脂肪酸の大腸癌転移に及ぼす影響

奈良県立医科大学 分子病理
羅 奕、藤井 澄、梶原 義典、
佐藤 真吾、國安 弘基

MS(5)-3-2. 大腸癌のアンギオテンシン活性化能は肝転移と相関する

奈良県立医科大学分子病理¹⁾、
三次中央病院外科²⁾
大森 齊¹⁾、大家 理伸¹⁾、森若優希子¹⁾、
笹平 智則¹⁾、立本 直邦²⁾、國安 弘基¹⁾

MS(5)-3-3. 膵癌細胞株における galectin-3 の役割

群馬大学大学院病態総合外科学
小林 力、鈴木 秀樹、久保 憲生、
新木健一郎、矢島 俊樹、和田 渉、
堤 莊一、志村 龍男、桑野 博行

MS(5)-3-4. GSK3 β による膵がん細胞の増殖と浸潤の制御

金沢大学 がん研究所腫瘍制御¹⁾、
金沢大学 環境生体分子応答学²⁾、
金沢大学 附属病院薬剤部³⁾、
金沢医科大学 腫瘍内科学⁴⁾、
金沢医科大学 総合医学研究所⁵⁾
北野 綾子^{1, 3)}、島崎 猛夫^{1, 4)}、東 朋美^{1, 2)}、
近野 祐里^{1, 3)}、石垣 靖人⁵⁾、元雄 良治⁴⁾、
宮本 謙一³⁾、川上 和之¹⁾、源 利成¹⁾

MS(5)-3-5. 胆管癌における E/N-cadherin functional switch を介した腫瘍進展の検討

群馬大学大学院 病態総合外科学
新木健一郎、鈴木 秀樹、久保 憲生、小林 力、
矢島 俊樹、和田 渉、堤 莊一、末廣 剛敏、
志村 龍男、浅尾 高行、桑野 博行